

服飾手芸

単位数	2 単位	対象学年	3 学年	対象コース・クラス	服飾デザインコース
使用教科書		副教材等	ファッション造形基礎（実教出版）		

1. 学習の到達目標

手芸の種類，特徴や変遷，各種手芸の技法などに関する知識と技術について学ぶ。

手芸品を創造的に製作し，自らが進んで活用する態度を身につける。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

服飾手芸に関する基礎的な知識を学ぶ。

刺繍・編物・織物などの様々な手芸の技法，構成，管理などに興味を持ち，実践的に取り組む。

3. 学習上のメッセージ

手芸は，手先が器用でないとできないというイメージがありますが，そんなことはありません。

この授業を通して，しっかりと技法を学び，手作りの楽しさや完成したときの喜びを感じてください。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	手作りをするに関心があり，様々な作品を作る態度を養うことができる。
思考・判断・表現	服飾への活用を想定し，表現することができる。
技能	各種手芸に必要な基礎的，基本的な技能を身につけている。
知識・理解	手芸の種類，特徴に関する知識を身につけている。

評価は，具体的に次のものを対象とする。

- ①年3回の定期試験（実技試験含む） ②授業中に配付されたプリントやノートの記入と提出
 ③作品，課題の製作と期限内提出 ④授業への関心・意欲・態度
 ⑤授業の出席状況 1年間の評定は，年間を通じて総合的に判断して決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	項目	指導内容と評価のポイント
1 節 刺繍	<ul style="list-style-type: none"> ・刺繍の種類と特徴 ・フランス刺繍の基本と基本ステッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な刺繍の種類や名称について知る。 ・フランス刺繍について知り，基本ステッチを理解する。
1 節 刺繍	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスステッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスステッチによる作品を作り，表現できる。
1 学期期末試験		
2 節 レザークラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・レザーの基本と特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・レザーの取り扱いについて知り，実際にデザインを考えながら，作品を作ることができる。
2 学期中間試験		
3 節 編物	<ul style="list-style-type: none"> ・編物の種類と特徴 ・編物の基本 ・棒針編みの基礎 ・棒針編みでつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・編物の種類や特徴を知り，基礎基本を身につける。 ・棒針編みの基礎を知り，実際にデザインを考えながら製作することができる。 ・棒針編み作品を完成する。
3 節 編物	<ul style="list-style-type: none"> ・かぎ針編みの基礎 ・かぎ針編みでつくる ・かぎ針編みでつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・かぎ針編みの基礎を知り，実際にデザインを考えながら製作することができる。 ・かぎ針編み作品を完成する。
卒業試験		

